

横浜鶴見北ロータリークラブ Yokohama Tsurumi North

2024年～2025年度 会長ターゲット「今日一日」



週報第19号令和6年12月23日発行



「2022年1月7日の天王院」

横浜鶴見北ロータリークラブ

【事務局】横浜市鶴見区佃野町 18-11 エトワール鶴見 303号

TEL 045-575-1821 FAX 045-575-1822

Email ytnclub@gmail.com

HP <https://www.rotary-tsuruminorth.jp/>

【例会】毎週木曜日 12:30 場所 新横浜グレイスホテル

会長／生方常明 副会長／佐久間務 幹事／松田啓

第2425回例会 令和6年12月19日

出席報告

斉唱 「奉仕の理想」

会員総数 33名
今回暫定 22 / 33 = 70.96%
前々回確定 26 / 33 = 83.87%

会長報告

前回例会以降の12月14日にインターアクト海外研修のオリエンテーションに同席。地区から小笠原会員と蔡氏の出席もあり。

12月18日はロータリー財団補助金セミナーに出席。増田会員と祝エレクトも出席。地区としては会員からの寄付金を原資とする補助金による奉仕事業を積極的に行なってほしいという意志があることと同時に、会員の寄付によっている以上は事業選定と事業報告と会計監査のそれぞれの過程の厳密性が求めるわけで、その厳密性の要求によって財団補助金の「難しさ」があるのだなと感じた次第である。

幹事報告

- ・ハイライト米山
- ・インターアクト年次大会のご案内
2025/1/26 (日) 10:00~16:30 県民ホール
- ・ロータリー希望の風チャリティーコンサートのご案内
2025/2/26 (水) 18:00~はまぎんホール
- ・ロータリーアクト地区年次大会
2/8 (土) 13:00~パシフィコ横浜
- ・RYLA スケジュール表
- ・入会候補者リスト記入のお願い

委員会報告

【宮田豊和会員】

- ・委員会開催案内

【石渡宏衛会員】

- ・当クラブのHPについて

【長澤尚明会員】

- ・年末家族親睦会について
- ・来年より席次のくじ引きを開始

ニコニコBOX

クラブ会員の為、敬称略

生方 常明 たしか夏の酷暑は冬の厳寒などと言われていたような気がしますが、それでも朝の勤行のときに厚着をするほどの寒さでもなく、温暖化は間違いないようです。

松田 啓 うちの娘も昨日から調子が悪いです。家族全員共倒れしないように気を付けます。

松阪 脩平 23日の年末家族親睦会、娘がとても楽しみにしております。今年もあと10日ですね。毎年1年が過ぎるのが早くなっています。

宮田 豊和 野村さん卓話ありがとうございます。肥満の薬の最新情報何かあったら教えてください。

田邊 勝久 日曜日になると強風で釣りに行けずストレスMAXです。

仲亀 晃央 インフル、風邪などまん延してありますので気を付けてください。野村さん卓話ご苦労様です。

藤林 直美 疾病について興味のある話題です。よろしく願い致します。

天野 直樹 野村さん卓話楽しみに拝聴します。早いものでもう年の瀬、来年は激動の時代になりそうで不安しかありません。

長澤 尚明 野村さん本日は卓話ご苦勞様です。楽しみに拝聴させていただきました。

簡 伸治 野村さん卓話ありがとうございます。「疾病について」台湾も疾病との戦いでした。学ばせていただきます。

宮田 豊和 新竹参加者共同出資金のあまりをニコニコに入れさせていただきます。参加の皆様ありがとうございました。

以下同内容の為お名前のみ（敬称略）

赤塚一志 佐久間務 牧井秀賢 加藤進
合谷保爾 小笠原憲介 石渡宏衛 野村清司
蜂須賀達寿 鈴木元一郎

卓 話

「疾病について」

野村 清司 会員

疾病とは

病気や疾患を意味する語
苦しみ悩むことを意味する「疾」と体を悪くする悪習により欠点が生じることを意味する「病」を組み合わせた表現

・生活習慣病

食事・運動・休養・喫煙・飲酒などの生活習慣が、その発症や進行に關与する病気のことを指す
生活習慣病には、糖尿病、脂質異常症、高血圧、大腸がんや肺がんなどのがん、脳卒中、心臓病の7つ

なぜ、生活習慣病を管理することが必要か

→医療費を抑えるため

75歳以上の医療費はかなり高額

QOLの維持ため

健康寿命を長くするため

疾病分類表

・疾病、傷害及び死因の統計分類(ICD)
世界保健機関憲章に基づき世界保健機関(WHO)が作成した分類
・疾病分類表
わが国の疾病罹患の状況を概括できるようにしたもの
WHOが勧告したリストとの整合性図られている

大きくは急性期疾患と慢性疾患に分かれている

第8次医療計画における5疾病6事業

- ・ 令和6年度から6年間
5疾病→がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、精神疾患
- 6事業→救急医療、災害時における医療、へき地の医療、周産期医療、小児医療(小児救急医療を含む)、新興感染症等
- ・ 医療計画とは、医療法に基づいて厚生労働省が策定する基本方針に則し、地域の実情に応じた医療提供体制の確保のために各都道府県がつくる計画のこと。

診療報酬について

- ・ 医療は、予防ではなく疾病疾患についてそれぞれ保険点数が付されている
- ・ 保険診療と自由診療に分かれている
- ・ 保険診療は国から認可された医薬品、医療機器によって処置、治療されたものについてのみ支払基金から支払われる
- ・ レセプトにもとづき一部負担金、保険料、税金から充当される
- ・ 保険診療と自由診療の混合診療は禁止されている

ドラッグラグ・ドラッグロス

- ・ ドラッグラグは、日本で欧米より数年遅れて承認された新規有効成分を含有する医薬品に関連した問題を指す。
- ・ ドラッグロスは、欧米では承認されているが、日本では未承認だけでなく、開発されていない新規有効成分を含有する医薬品に関連した問題を指す。
- ・ 厚生労働省のデータでは、2023年3月時点において、欧米では承認されているが日本では承認されていない医薬品(未承認薬)は143品目
- ・ 未承認薬143品目中、国内開発未着手の医薬品の品目は86品目(60.1%)あり、そもそも承認申請されていない(企業が開発しない)というドラッグロスが発生している
- ・ 86品目の内訳は、ベンチャー発医薬品、オーファン、小児の割合が大きいです

考えられる原因(東京財団政策研究所参照)

- ・ 日本の製薬市場にネガティブな影響を与えている主な要因は2つある
日本のスタートアップや製薬業界による国内のイノベーションの欠如
国外からのイノベーションを引き付けられない薬価制度である
- ・ 世界で最も売れている上位10薬のうち8つは、販売会社によって発明されたものではない
→創薬イノベーションは主に小規模なバイオテクノロジーベンチャー企業による
→利益を確保するため日本の優先順位は低い
- ・ 日本人被験者のデータが必要とすること、一部製品について発売時に全患者モニタリングする必要があり、発売時に日本向けの特定パッケージ(2週間処方ルール)

副作用について

- ・ 医薬品には、本来の目的である主作用があり、それ以外の作用が副作用であり、医薬品は体にとって異物である以上、副作用があるのは必然である。
- ・ このうち、高齢者に問題が起こるのは、転倒を起こしやすい薬である。
一寝たきり、認知症の進行による健康寿命の短縮
- ・ 転倒を起こす場合がある薬・・・睡眠鎮静薬、抗うつ薬、鎮痛剤、てんかん治療薬、血圧降下剤、糖尿病薬
- ・ 高齢者に副作用が起こりやすい要因
①ポリファーマシー(多剤併用)・・・6剤以上
②身体機能が低下
③日常生活の問題点など

その他 薬害

・ 薬害

ペニシリンショック

ヤコブ病

サリドマイド

薬害肝炎

スモン

薬害イレッサ

薬害エイズ

HPVワクチン薬害

MMRワクチン

ソリブジン

活 動 予 定

1月10日（金）2RC合同賀詞交換会

4月 3日（木）創立記念例会（夜間）

例 会 予 定

12月26日（木）休会

1月 2日（木）休会

1月 9日（木）休会

1月10日（金）横浜ベイシェラトンホテル

2RC合同賀詞交換会

1月16日（木）新横浜グレイスホテル

1月23日（木）新横浜グレイスホテル

1月30日（木）新横浜グレイスホテル